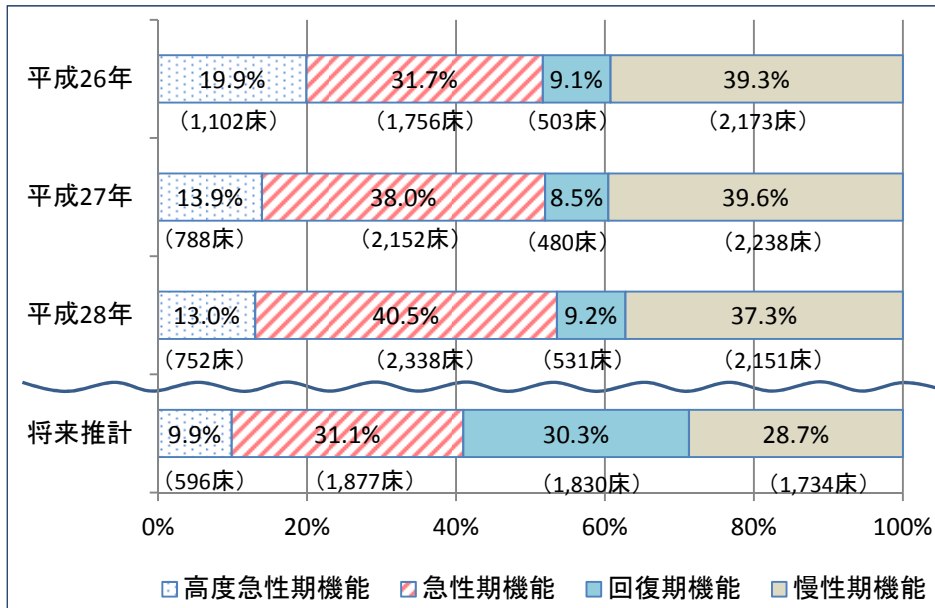
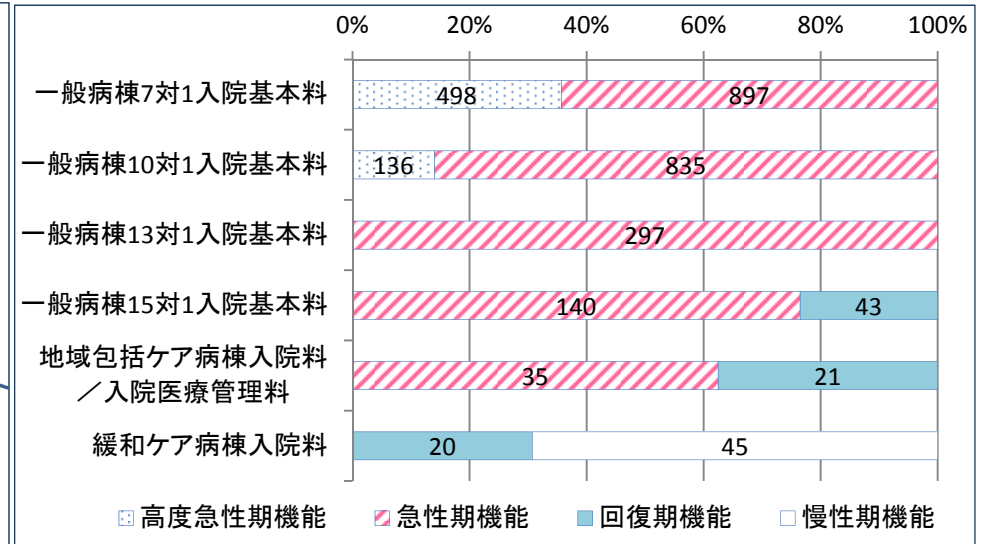


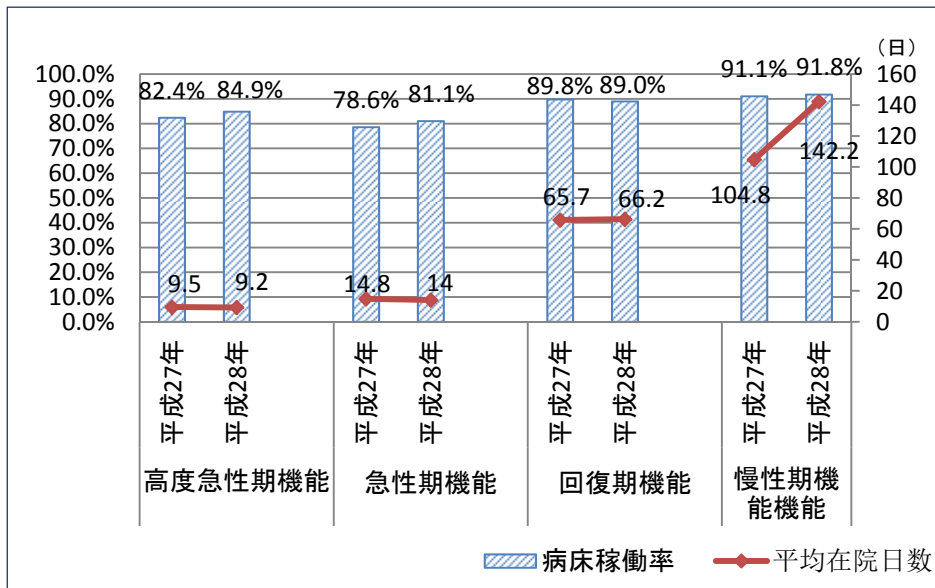
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	1233 92.4%	19 1.4%	10 0.7%	73 5.5%
急性期機能	2551 76.9%	85 2.6%	93 2.8%	587 17.7%
回復期機能	99 60.7%	7 4.3%	24 14.7%	33 20.2%
慢性期機能	207 51.0%	44 10.8%	28 6.9%	127 31.3%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 61.8%

- ①H27からH28にかけて、急性期機能の増(7:1・10:1病床の増)
- ②急性期機能において、在院日数が短くなり病床稼働率が上がっている
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能として報告された割合が多い
- ③緩和ケア病棟では、慢性期機能として報告された割合が多い
- ④高度急性期から慢性期機能において、退院後の在宅医療実施予定が不明という割合が高い